

豊町三丁目会館

所在地 豊町3-4-11

豊町三丁目会館は平成15年5月に(耐震・防火構造の鉄骨2階建)落成して4年9ヶ月が経過しました。四間通りに面したピンク色の建物です。



- 1階 多目的ホール 椅子58・机10台
正面に8畳ほどの舞台あり。
2階 和室20畳 事務室 台所
備品 ショウケース(冷熱器)
使用料及び使用時間は次表の通りです。

使用時間・料金

利用時間	1階	2階
午前9時～12時	2,000円	2,000円
午後1時～5時	3,000円	3,000円
午後6時～10時	4,000円	4,000円
一日(午前9時～午後10時)	8,000円	8,000円

会館使用の場合は原則として申込順ですが、葬儀を優先する。葬儀・斎場としての会館の場合、2日間6万円、非会員7万円です。

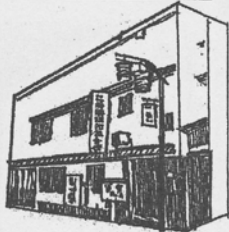
お申し込み・お問い合わせ

会館管理委員 橋本政徳 電話 3782-2398

二葉神明町会館

所在地 品川区二葉1-14-23

- 1階 和室 12畳半
土間8坪・台所
2階 洋室 約30畳
机18台・椅子60脚
冷暖房・テレビ・カラオケ完備



平成18年4月1日 内外装全面改築
冠婚葬祭、その他一般の集会・会合にご利用ください。

使用時間・料金

利用時間	1階	2階
午前9時～12時	1,000円	1,500円
午後1時～5時	1,500円	2,500円
午後6時～9時50分	2,000円	3,500円
葬儀 2日間使用 5万円(宿泊可)		
冷暖房 1階 1時間 100円		
2階 1時間 200円		

お申し込み・お問い合わせ

京屋(柳原) 電話 3781-1730

二葉一丁目会館

所在地 品川区二葉1-11-2

皆様の会館です。
50名程収容できます。
お気軽にご利用ください。



創立 昭和43年1月
改築 平成12年1月

- 1階 和室10畳・和室7畳
2階 和室32畳

備品 冷暖房、什器、座布団、テント、立机等

使用時間・料金

利用時間	1階10畳	1階7畳	2階32畳
午前10時～午後1時	2,000円	1,000円	3,000円
午後2時～午後5時	2,500円	1,500円	3,000円
午後6時～午後9時	2,500円	1,500円	3,500円

備品利用は無料。葬儀優先(宿泊可)
葬儀は2日間で会員5万円(会員外6万円)

お申し込み・お問い合わせ

・町会長 清水 3785-6718 ・桜井 3781-1924

ご利用下さいわが会館

町会会館ができた当時は、様々な集まりに利用され大変喜ばれました。その後、家の構造の変化や核家族化等から、「葬儀に貸してほしい」という要望が寄せられ、各町会は区の援助も受けて改造に着手、地元での葬儀には優先して利用出来る様になりました。最近では区の葬祭施設が充実し利用者が減ってきましたが、家族や仲間同士の会合や趣味のサークルなど、気軽に使える設備も整えています。2回にわたり荏原第五地区の全10町会が持つ、皆様の身近で便利な施設を紹介します。ぜひ参考にしてご利用してみ下さい。

第五いっぴん

第96号
20.2.1

発行 編集委員会

事務局 荏原第五地域センター

TEL 3785-2000

豊町五丁目会館

所在地

品川区豊町5-12-15

平屋建(14坪)

集会室1間(20畳) 台所

備品

食器・テーブル

座布団・テントなど

設備

エアコン・ストーブ・複写機など



使用時間・料金

利用時間	料金
午前9時～12時	1,300円
午後1時～午後5時	1,950円
午後6時～午後9時	2,600円
通夜・告別式(祭壇飾り) 上記料金の10倍	
備品・器具使用料	400円
酒席料	600円
細部詳細については申し込み時に担当者に確認してください。	

お申し込み・お問い合わせ

総務部 磯 康江 電話 3783-1310

豊町二丁目親和会会館

所在地

品川区豊町2-4-6

会館新築 昭和34年9月

増築 昭和48年7月

2階建て:27坪

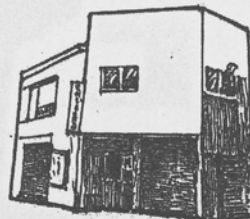
1階

和室6畳・4.5畳(納戸)

倉庫

2階

集会室(和室24畳) 台所



使用時間・料金

時間	一般	会員
午前9時～12時	2,500円	1,000円
午後1時～5時	2,500円	1,000円
午後6時～9時	3,500円	1,500円
冷暖房費(冷暖房使用時の電気料)		500円
葬儀一律(冷暖房費含む)		20,000円
備品(食器・テーブル・テント他)		無料

お申し込み・お問い合わせ

会館管理者 金久保謙三(金元) 電話 3786-7798



節分



今では立春、前日(現在は2月3日)を「節分」と呼んでいます。もともとは「季節の移り変わる時」で、立春・立夏・立秋・立冬の前日はいずれも節分なのだそうです。

平安時代に宮中で追儺・鬼遣という年中行事がありました。疫病や災難などを追い払うため、12月晦日、舎人が疫病の鬼に扮し、大舎人が桃の弓・葦の矢を放って鬼を追い払う儀式です。のちに貴族社会や社寺で行われました。一方、南北朝ごろから、立春前日の節分の夜、煎った大豆をまいて厄払いをする習慣が始まったようです。この二つが結び付いて、今の節分の行事になりました。戸口に焼きイワシの頭とヒイラギの小枝を付けた焼嗅(やいばし)を掲げる習俗も、悪鬼の侵入を防ぐためといわれています。

下神明天祖神社では、「地域に対して何か出来ることはないか」として、平成10年から神楽殿を使って節分祭を行っています。撒き物は、豆・菓子・餅の他、奉納されたお捨り(硬貨)などです。拾えない幼児や身体の不自由な方々には、社殿側から鬼が豆を撒き、また豆や菓子を手配りします。地元の神明寿楽会が甘酒を無料奉仕したり、鳶さんが奉納の書き出しの板造り奉仕をしたり、奉仕会を結成し群集の警備や自転車車の整理をしたりと、年々規模になってきました。参加者からは「顔見知りの人が多くなごやか」「学校が終わってすぐ来た」との声が、神社では「前の年よりも良い行事になることを願っている」という話が聞けました。往原警察からは「毎年人が増えているのでもっと警備を厳重に」との要請があり、スタッフの充実が今後の課題となっています。

第95号のお年玉クイズ

答は『北京』でした
10名に賞品をお届けしました

国文学研究資料館が移転

国文学研究資料館は昭和47年創設以来、35年間(文部省史料館時代を含めると56年間)にわたって品川区豊町の地において事業、研究活動を実施してきましたが、平成20年2月に立川市緑町に移転します。品川区とのお別れ展示を、10月22日から11月22日まで展示室で行い、最後の日の夕方には大会議室で、「江戸における戸越」「港と宿の風景・歴史から見た品川」と題した講演があり、盛況の内にその幕を閉じました。今後は品川区の施設としてあらたな活動の場とすべく、検討されています。

青少年対策往原第五地区委員会 ボウリング大会結果(1/20)

小学生の部	中学生の部
優勝 宮武翔大(豊2)	成瀬康平(葉中)
二位 稲本啓太(豊4)	井出 澄(豊4)
三位 松嶋宏樹(葉3)	中村千里(豊2)



体調を崩して早7年。突然の入院は、健康だった私にはショックでした。病気を認めこれからは思ったら、今度は夫が癌と知り頭の中が真っ白に、2年後には帰らぬ人となりました。今では趣味を持ち仲間と楽しんでいます。体調を考えバランスのとれた食事をし、毎日のウォーキングで四季の移り変わりに和みます。時には挫折することもあります。孫たちの元気一杯のパワーに、励まされながらの毎日です。

古紙を配合した紙を使用しています